

## 薬害教育教材に関するアンケート調査(令和元年度)の結果について

### 1 目的

中学3年生を対象とした薬害教育教材「薬害を学ぼう」について、教材のより有効な活用方法等の検討につなげるため、教育現場での使用状況、問題点等を把握する。

### 2 調査対象

全国の中学校(11,226 か所)

### 3 調査内容

- (1) 使用状況(教科、取り上げた単元)
- (2) 教材の発送時期(適否、その理由)
- (3) 指導の手引きについて
- (4) 視聴覚教材について
- (5) 教材等への感想・意見、教材の活用方法・工夫等

### 4 調査方法

以下の手順により、事務局において調査を実施。

- ① 令和元年度分の教材の発送時(令和元年 8 月 19 日から発送)にアンケート用紙を同梱し、中学校において必要事項を記載するよう依頼。
- ② 中学校から事務局あてに返送。(返送期限:令和元年 9 月 27 日)

### 5 調査結果の概要

- (1) 回収率 4.5%(507 か所)

※平成 26 年度:11.4%(1,269 か所)

平成 27 年度:15.3%(1,703 か所)

平成 28 年度:8.1%(897 か所)

平成 29 年度:11.5%(1,268 か所)

平成 30 年度:10.0%(1,138 か所)

- (2) 結果の概要 別紙のとおり。

## 調査結果の概要

## 1 調査結果一覧

	質問内容	主な結果	合計
問 1	使用状況(予定含む) 【注1】下線部は令和元年度 矢印の右側は平成30年度(以下同じ) 【注2】このほか、未記載64件(12.6%)がある	①授業で使用(予定): <u>154(30.4%)</u> ←465(40.9%) ②配布(予定): <u>255(50.3%)</u> ←585(51.4%) ③使用・配布の予定はない: <u>34(6.7%)</u> ←77(6.8%)	507
	(1)教科	①社会科: <u>123</u> ←288 ②保健体育科: <u>107</u> ←176 ③総合的な学習の時間: <u>11</u> ←36 ④その他: <u>15(道徳3、朝活2、学活2等)</u> ←34	256 【複数回答】
	(1)-2 取り上げた単元 (自由記述)	「人権」 <u>76</u> ← 246 「消費者の保護」 <u>31</u> ← 75 「公害」 <u>27</u> ← 67 「医薬品の適正使用」 <u>67</u> ← 128 「エイズ・感染症の予防」 <u>40</u> ← 74 「薬物乱用」 <u>63</u> ← 113 その他 <u>13</u> 件(行政裁判・国家賠償6、健康・病 気3など)←16	317 【複数回答】
問 2	教材の発送時期 ※平成30年度は6月発送だ ったが、令和元年度は8月 頃発送となった。	①ちょうどよい: <u>420(82.8%)</u> ← 887(77.9%) ②早すぎる: <u>26(5.1%)</u> ← 135(11.9%) ③遅すぎる: <u>32(6.3%)</u> ← 56(4.9%) ④未記載等: <u>29(5.7%)</u> ←61(5.4%)	507
	早すぎる又は遅すぎると回 答した場合の理由と時期 の内容 (自由記述)	【早すぎる】 ・ 薬害の話は、2月後半～3月で行う予定なので、9 月では指導内容をそこまで考えることができないの で、発送は12月等でも良い。 ・ 9月は体育祭の時期なので、意識を高めるのが難 しい。10～11月頃が良い。 【遅すぎる】 ・ 長期休暇の前に送付されれば、「手引き」や「事例 集」などの教材研究の計画がたてやすい。 ・ 指導計画に入れられない。遅くとも4月には送っ てもらえないと、検討できない。 ・ 人権で取り扱う場合は、もう少し早い方がよい。4 月、5月。 ・ 1学期に3年生で感染症・エイズを学習するので、 5月頃もらいたい。	185

	質問内容	主な結果	合計
問 3	指導の手引きについて	①内容が適切: <u>331(65.3%)</u> ← 748(65.7%) ②内容が難解: <u>33(6.5%)</u> ← 74(6.5%) ③内容がやさしすぎる: <u>1(0.2%)</u> ← 1(0.1%) ④使っていない: <u>118(23.3%)</u> ← 266(23.4%) ⑤その他: <u>10(2.0%)</u> ← 21(1.8%) ⑥未記載等: <u>18(3.6%)</u> ← 30(2.6%)	507
	「②内容が難解」、「③内容がやさしすぎる」、「④使っていない」又は「⑤その他」の場合の改善点等の内容 (自由記述)	<b>【内容が難解】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用語が難しいものがある。</li> <li>・聞いたことのない言葉が多く、大人の私でも少々難しかった。</li> <li>・イラストや文字数が考慮されるとわかりやすくなると思う。</li> </ul> <b>【使っていない】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の手引きが難解というより、テキストの内容が難しく、1単位時間のみで扱うことは難しい。教科書の内容として取り扱われていることが少なく、指導する例として、いつ、どの内容の時に扱えばよいか、そこが一番悩む。</li> <li>・授業での活用場面を示してほしい。短時間で使えるような内容にしてほしい。</li> <li>・生徒に内容を理解させるのに、時間がかかるため、取りかかりにくい。配布するのみでいい内容とも思えない。</li> <li>・教科書に沿った使い方ができるならば使用を検討したい。</li> <li>・本校は知的障害重度の生徒が在籍しているため、学習内容の理解が難しい。</li> <li>・授業で詳しくふれる予定がないため活用できない。学校指導要領の中での重みづけが分からない限り難しいのではと感じる。</li> </ul> <b>【その他】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実生活に関わる内容(新聞やデータ)も入れてほしいと感じることがある。</li> <li>・わかりやすく製薬会社、政府、病院の責任を示すべき。</li> </ul>	201

	質問内容	主な結果	合計
問 4	視聴覚教材について	①授業等で使用(予定): <u>93(18.3%)</u> ←220(19.3%) ②使用の予定はない: <u>396(78.1%)</u> ←880(77.3%) ③未記載等: <u>17(3.4%)</u> ←38(3.3%)	507
	「①授業等で使用(予定)」の場合の使用用途、使用した感想、改善点等の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の導入で使用を予定。</li> <li>・ 「医薬品の利用」の授業後に補足する形で使用する予定。</li> <li>・ 人権課題の 1 つとして、1 単位時間(50 分)で実施。特に「指導の手引き」の用語解説と DVD の被害者の実際の声を活用した。</li> <li>・ 薬害問題が本人の意思に反する人権問題であり、救済が求められているという視点に立って活用しました。</li> <li>・ 使いやすかった。パンフレットのみでなくてよかった。</li> <li>・ 資料(テキスト)だけでは、関心が高まらなかったが、動画を視聴させたことで、関心が高まったように思います。</li> <li>・ どのような問題が起こっているか、被害にあっている方の言葉がとても生徒たちに響いている様子だった。(同様の記載多数)</li> <li>・ DVD の内容にメリハリがなく、やや使用しにくい。資料と DVD を元にパワーポイント資料にして利用。</li> </ul>	76
問 5	その他このテキストや同封した指導の手引きについて、感想・意見(自由記述)	※ 下記2を参照	128

## 2 教材や活用の手引についての感想・意見、授業での活用方法・工夫、活用に当たっての問題点(主な記述)

### ➤ 授業の中で活用(副教材、参考資料等として)

- ①薬の飲み方について触れる学習に合わせて使用する予定です。
- ②社会科授業の授業場面で、資料として提示させていただきました。今後、視聴覚教材も有効活用できればと考えております。
- ③保健体育の補助資料としての活用を検討していきたい。
- ④朝礼を利用した読書時間を充当し、日本における薬害について学習活動を行いました。
- ⑤テキストは、本県・本市が推進する”水俣に学ぶ”学習に使用しています。

### ➤ 時間がない

- ①配布のみ行う場合に、10分程度で要点を話ができるような指導書があればと思いました。
- ②手引きはくわしくて分かりやすいですが、50分という時間をとるのはなかなか難しいです。
- ③50分の授業の流れが示されているが15分程度にできる内容にしてほしい。配布の際に、生徒に薬害のことを教え、その問題点、課題を短くまとめるのが大変だと思いました。
- ④授業でパンフレットのすべての内容を押さえることはできませんが、生徒が少しでも薬害について知ることにつなげられればと考え、毎年授業を行っているので、パンフレット配付はよいと思います。
- ⑤単元や授業の中で、薬害について中心に取り上げることは時間的に難しいと感じる。様々な諸問題の一つとして、薬害も最近問題視されていることを教えていきたい。
- ⑥保健体育の授業数が少なく難しいとの事でした。
- ⑦道徳も教科になり、取り組みの時間の確保が難しい。どの教科が責任をもってやるのかが明示されないとわからない。配布だけなら送付して欲しい。
- ⑧道徳教育の充実(教科化)等の中で、取り組む時間がなくなっている。いろいろなところからの要請に応じられない状況である。

### ➤ 資料の構成等について

- ①DVDの内容は、紙面以外の情報もあるといい。たとえば、具体的なデータ(数的なもの)など。
- ②内容にそったアニメ化はできないのでしょうか、一部の生徒にとっては読むだけでも大変な気がします。
- ③教科書には載っていない内容があるので、非常にたずかる。
- ④被害者の方の声が収録されており、とても実感を伴った学習ができるDVDだと思いました。
- ⑤指導案や実施例が手引きにのっていて分かりやすい。薬害を知らない世代なので、もっと身近に感じられる教材でもよいと感じた。
- ⑥表紙はアニメにしてほしい。(写真はインパクトが強すぎる。)→生徒に心の準備の時間を。

### ➤ その他

- ①病気の克服のために使ったら、実は他の面で害があった、など、一概に「悪」ととらえられない面も、生徒は考えていた。
- ②テキストの点字版やデータ版があれば、盲学校でも使えると思います。
- ③指導用のワードやパワーポイント等のデータファイルを一緒に送っていただけると助かるかもしれません。
- ④読み物資料としても充実しているので、毎年、生徒も真剣な顔で目を通しているように感じます。
- ⑤本校に肢体不自由の生徒が在籍しています。テキスト表紙の写真、内容等から障害＝薬害と、とらえられる危険性がある、また、内容が難解である。